

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2003-15529(P2003-15529A)

【公開日】平成15年1月17日(2003.1.17)

【出願番号】特願2001-195690(P2001-195690)

【国際特許分類第7版】

G 09 F 9/00

H 04 N 5/64

H 04 N 5/66

【F I】

G 09 F 9/00 302

H 04 N 5/64 541Z

H 04 N 5/66 101A

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月12日(2004.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対向する基板間に放電性ガスを封入した放電セルがマトリックス状に配置され、前記放電セルの放電により映像を表示する表示面を有するプラズマディスプレイパネルと、前記プラズマディスプレイパネルを保持する支持板と、

前記プラズマディスプレイパネルを前記支持板側へ押圧する押圧手段とを備え、

前記押圧手段により前記プラズマディスプレイパネルを押圧することにより、前記放電セルの放電に起因する振動で生じる前記プラズマディスプレイパネルからの可聴周波数帯域の騒音を低減するようになしたことを特徴とするプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項2】

前記支持板は前記プラズマディスプレイパネルの表示面側とは逆側に配置され、

前記押圧手段は、前記プラズマディスプレイパネルの表示面側から、前記プラズマディスプレイパネルを前記支持板側へ押圧するように構成したことを特徴とする請求項1に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項3】

前記プラズマディスプレイパネルの表示面は、映像の表示領域と非表示領域とからなり、前記押圧手段は、前記映像の非表示領域の少なくとも一部の領域に設けられたことを特徴とする請求項1乃至請求項2の何れか1項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項4】

前記押圧手段は、押圧力が調整可能な部材により構成されることを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。

【請求項5】

前記押圧手段は、熱伝導性の良い材質で構成され、前記押圧手段に前記プラズマディスプレイパネルの表示面側に発生した熱を放熱させる効果を持たせたことを特徴とする請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載のプラズマディスプレイパネル表示装置。